

2024年度 一般選抜問題
前期C日程 2024年1月23日(火)

選 択 科 目

(数学・基礎理科・物理・化学・生物・日本史・世界史・国語)

数 学	1～ 6ページ
基礎理科	7～ 27ページ
※2科目選択して1科目の扱いとなります。	
物 理	29～ 44ページ
化 学	45～ 57ページ
生 物	59～ 73ページ
日 本 史	75～ 85ページ
世 界 史	87～ 99ページ
国 語	101～113ページ

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 3科目型の受験生および3科目型と2科目型を併願する受験生は上記の科目から2科目を、2科目型の受験生は、上記科目と英語から2科目を選択してください。但し受験票に記載された科目以外を受験すると0点となります。
3. 解答用紙には、「**数学**」(青色)と「**基礎理科**」(赤色)と「**数学・基礎理科以外**」(赤色)の3種類があります。
4. 試験開始後、解答用紙に受験番号と名前を必ず記入し、受験番号をマークしてください。数学以外の科目については、解答する科目を選び、科目の右にマークしてください。また解答科目欄に科目名を記入してください。正しくマークされていない場合は0点となります。
5. 解答はすべて解答用紙の解答欄にマークしてください。「**基礎理科**」の解答用紙は2科目を選択し、科目ごとに決められた解答欄にマークしてください。3科目に解答した場合は0点となります。
6. 問題用紙の余白は計算に使用してもかまいませんが、解答用紙を汚してはいけません。
7. 試験開始後、問題用紙・解答用紙に落丁・損傷がないか確認してください。
8. 数学の問題の冒頭には「**解答上の注意**」が記入されていますので、必ず読んでから解答してください。
9. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

日本史

1 古代から近現代にかけての港に関する次の文章を読み、下の問い(問1～9)に答えなさい。

古代の **ア** は、瀬戸内海に面し、淀川の河口に位置する水上交通の要地であった。ここに大王宮を移した孝徳天皇の時代には、(a) 遣唐使が2度にわたり派遣された。この地の利便性は後世においても評価され、権力者の流通拠点として機能したこともあった。

(b) 古代以来、日本の玄関口となったのは博多である。博多には、中国や朝鮮半島からの使節の迎賓館として鴻臚館が設置され、遣唐使や遣新羅使などの遣使の宿泊所にもなっていた。博多は、中世においても日宋貿易・日明貿易の貿易港として栄え、室町時代には寧波に向けて貿易船が出航した。

(c) 戦国時代には多くの港町が発達し、富裕な商工業者たちが自治組織をつくって市政を運営した町もあった。また、ポルトガル人バルトロメウ=ヴェーリョが1561年に作成した「世界図」では、日本列島が坂東・都・山口・豊後・土佐・(d) 鹿児島という地域区分で表現され、外国人から見た日本認識がうかがえる。

(e) 江戸時代になると、外国との窓口としての港の機能は制限されたが、国内の海上物流においては重要な役割を果たしていた。江戸時代の日本では多くの港町が栄え、多くの商船が行き来した。だが、外国船のような大型船が乗り入れられるような近代港湾都市はなかった。実際、(f) 日米修好通商条約により開港した新潟港は、港が信濃川河口にあって水深が浅く外国船が入港できなかったため、開港後に港の改修が行われた。

開港後の日本はさまざまな国々と貿易した。貿易額を伸ばす大きな契機となったのが、産業革命期に **イ** が行った遠洋航路の開設である。これにより、(g) 神戸からインドのボンベイ、横浜からベルギーのアントワープやオーストラリアのメルボルン、神戸からアメリカのシアトルといった航路が開設され、世界各地の港とつながった。また、近代には横須賀・舞鶴・呉・佐世保の4港が軍港として整備されて日本の海軍を支えた。これらの港は第二次世界大戦後、海上自衛隊に引き継がれた。(h) 高度経済成長期になると、多くの港は重化学工業地帯として整備されていった。

問1 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **1**

- | | | | |
|----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| ① ア 兵庫津 | イ 共同運輸会社 | ② ア 兵庫津 | イ 日本郵船会社 |
| ③ ア 難波津 | イ 共同運輸会社 | ④ ア 難波津 | イ 日本郵船会社 |

問2 下線部(a)に関連して、この時の遣唐使に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 2

X この遣唐使のなかには、吉備真備・玄昉がいた。

Y この遣唐使において、航路が北路から南路に切り替えられた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問3 下線部(b)に関連して、古代に九州北部に設置されたものとして適当でないものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 3

① 石築地

② 水城

③ 古代朝鮮式山城

④ 大宰府

問4 下線部(c)に関連して、戦国時代の港町の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 4

① 堺・宇治・山田・今井

② 大湊・桑名・堺

③ 今井・小田原・桑名

④ 宇治・山田・草戸千軒町・小田原

問5 下線部(d)に関連して、鹿児島を訪れた人々に関して述べた文a～dの組合せについて正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 5

a この地に招かれた南村梅軒は、儒学を講じた。

b この地に招かれた桂庵玄樹は、儒学を講じた。

c この地に到着した朝鮮人が、日本にはじめて鉄砲を伝えた。

d この地に到着した南蛮人が、日本にはじめてキリスト教を伝えた。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

問6 下線部(e)に関連して、江戸時代の港での規制に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥の中から一つ選びなさい。 6

I 中国船を除く外国船の来航を平戸・長崎に制限した。

II 日本人の外国への渡航を全面的に禁止した。

III 来航する中国船の年間入港船数を30隻に制限した。

① I→II→III

② I→III→II

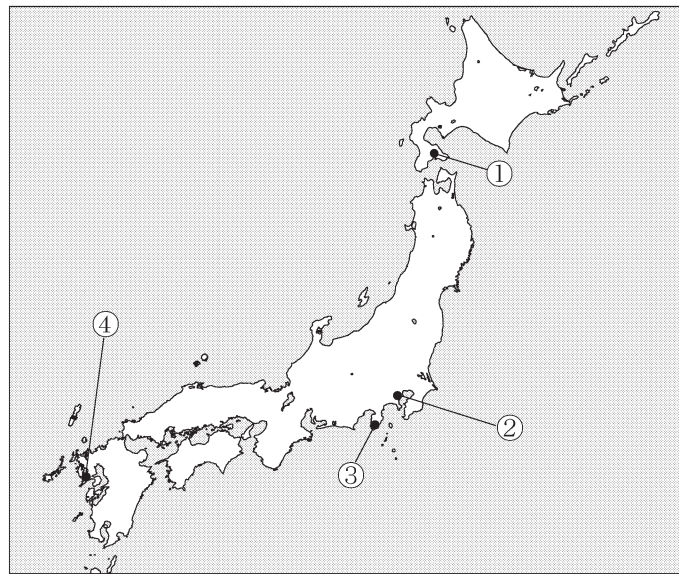
③ II→I→III

④ II→III→I

⑤ III→I→II

⑥ III→II→I

問7 下線部(f)について、日米修好通商条約調印の翌年に閉鎖された港がある場所として最も適当なものを、次の地図上に示した位置①～④の中から一つ選びなさい。 7



問8 下線部(g)に関連して、この航路開設によって生じた日本の産業の変化について述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 8

- ① インドで工場をつくり、現地で工場経営を行う紡績業が発達した。
- ② インドから品質の良い原料を輸入したことで、日本国内で紡績業が発達した。
- ③ インドに品質の良い綿織物を輸出することで、日本国内の紡績業が活況を呈した。
- ④ インドに日本国内で生産した綿製品を無償で提供し、日本の紡績業が有名となった。

問9 下線部(h)に関連して、高度経済成長期の港について述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 9

- ① 石炭産業の活況により、背後に炭鉱をもつ港を中心に鉄鋼業が発達した。
- ② 石油を燃料とするコンビナートが建設され、港を中心に重化学工業が発達した。
- ③ 省エネルギーなど減量経営が進み、港を中心に展開する造船業の自動化が進んだ。
- ④ 工業化が進展するなか、港でも環境汚染が問題となり、環境省が設置された。

2 新井白石の『読史余論』に関する次の文章を読み、下の問い（問1～9）に答えなさい。

新井白石の『読史余論』は、過去の時代を合理的な指標で区分し、歴史の移り変わりを見通そうとしている書物で、近代歴史学に通じる視点をもつ史論として高く評価されている。この史論は、南北朝期に **ア** の立場から書かれた『神皇正統記』に影響を受けながら論じられている。ここでは、その史論に即して、古代・中世の政治を見ていく。

まず白石は、日本の政治権力は「九変」を経て武家の時代になったとしている。「一変」は、藤原良房が摂政となって政務をとった時で、(a)ここに外戚による実権掌握のはじまりを見ている。

「二変」は、藤原基経が光孝天皇を立て、その後から藤原氏の権力が隆盛した時である。その後、(b)冷泉天皇から後冷泉天皇までの摂関政治の全盛期を、藤原氏の外戚が続いた「三変」としている。

続いて後三条天皇・白河天皇の親政が「四変」、(c)堀河天皇から安徳天皇までの院政を「五変」とした。そして、(d)後鳥羽天皇・土御門天皇・順徳天皇の3代の時に鎌倉幕府の将軍が天下の軍事権を分掌した時を「六変」、仲恭天皇に次ぐ後堀河天皇から光厳天皇までの12代にわたって北条氏が国家の政務を執った時が「七変」、後醍醐天皇が親政を敷いた3年間を「八変」とした。最後の「九変」は、後醍醐天皇が戦乱を避けて漂泊し、足利尊氏が共主として光明天皇を擁立して以来、武家の時代になった時とした。

続いて白石は、武家の時代は「五変」を経て徳川政権の成立に至ると捉えた。「一変」は、源頼朝が幕府を開いて軍事権を掌握した時とした。「二変」は、(e)承久の乱後に北条義時が天下をとり、北条高時の代になって滅亡した時とした。「三変」は、後醍醐天皇の親政後、(f)足利尊氏が反旗を翻して、光明天皇を立て、自ら幕府を開いた時点においた。その後、足利時代の末に織田信長が将軍を廃し、天皇を擁して天下に号令しようとしたが、**イ** に殺され、(g)豊臣秀吉が関白となり、天下をとった時期を「四変」、最後の「五変」は、徳川家の時代とした。

『読史余論』では (h)律令体制の時代については詳しく分からない。後世に書かれた史料を読む際には、このように抜け落ちた点についても留意する必要があるだろう。

問1 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **10**

- ① **ア** 南朝 **イ** 明智光秀 ② **ア** 南朝 **イ** 柴田勝家
③ **ア** 北朝 **イ** 明智光秀 ④ **ア** 北朝 **イ** 柴田勝家

問2 下線部(a)に関連して、藤原良房以前から藤原氏は天皇家と外戚関係をもっていたが、そのことに関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 11

X 藤原不比等の娘である光明子は、皇族以外ではじめて皇后となった。

Y 桓武天皇の母は、藤原氏式家の出身であった。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問3 下線部(b)に関連して、摂関政治全盛期の出来事に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥の中から一つ選びなさい。 12

I 大宰権帥藤原隆家が武士を指揮して、九州北部に襲来した刀伊を撃退した。

II 左大臣源高明が、源満仲の密告により大宰権帥に左遷された。

III 関白であった藤原頼通が、宇治に平等院鳳凰堂を建立した。

① I→II→III ② I→III→II ③ II→I→III

④ II→III→I ⑤ III→I→II ⑥ III→II→I

問4 下線部(c)に関連して、院政期の出来事について述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 13

① 源経基が、清原氏の内紛を制圧した。

② 平正盛が、源義親を討った。

③ 保元の乱で、源義朝が倒された。

④ 平治の乱で、源頼信が倒された。

問5 下線部(d)に関連して、この3人は上皇の時に承久の乱に敗れて配流された。上皇名と、配流先との組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 14

① 土御門上皇－隠岐

② 土御門上皇－佐渡

③ 順徳上皇－隠岐

④ 順徳上皇－佐渡

問6 下線部(e)に関連して、執権政治に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 15

① 北条泰時は、引付衆を任命して、所領に関する訴訟を専門に担当させた。

② 北条時頼は、三浦泰村を滅ぼし、藤原将軍に代わる皇族を将軍に迎えた。

③ 北条時宗は、蒙古襲来前に鎮西探題を設置し、元の動向を警戒した。

④ 北条貞時は、永仁の徳政令を出して、御家人の所領の売却・質入れを認めた。

問7 下線部(f)に関連して、光明天皇の出自と、幕府を開いた時の政治方針の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 16

- ① 大覚寺統一建武式目 ② 大覚寺統一貞永式目
③ 持明院統一建武式目 ④ 持明院統一貞永式目

問8 下線部(g)に関連して、豊臣秀吉の政策に関して述べた文 a～d の組合せについて正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 17

- a 刀狩令によって、百姓を農業に専念させようとした。
b 人掃令によって、百姓が武家奉公人になることを禁じた。
c 文禄の役において、李舜臣率いる水軍に苦戦した。
d 慶長の役において、明との講和を行った。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問9 下線部(h)に関連して、律令体制下における天皇の政策に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 18

- ① 聖武天皇は、人口増加にともなう口分田不足を補うため、三世一身法を施行した。
② 光仁天皇は、すでに藤原不比等が編纂していた養老律令を施行した。
③ 元明天皇は、朝廷が鑄造した銅銭を流通させるために、蓄銭叙位令を出した。
④ 孝謙天皇は、鎮護国家の思想にもとづいて、大仏造立の詔を出した。

3 近世の特産物に関する次の文章を読み、下の問い（問1～9）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

(a)幕府や大名は、年貢米を都市で販売・換金し、一方で商品作物の生産を奨励して税収の増大をはかった。(b)17世紀後半、河村瑞賢が幕府の命令により西廻り海運を整備し、各地から大坂に多くの生産物を集荷できる構造が生まれると、さらに各地で商品生産が活発化し、人々の商品需要も多様化した。商品の取引は(c)城下町や在郷町の間屋や市場を通じて行われ、村々も遠隔地との商品流通に巻き込まれた。都市の間屋のなかには、豪農と連携して農村部の商品生産や流通を主導する者も現われ、豪農層も農作物を原料とする手工業生産をさかんに行うようになった。こうした間屋や豪農のなかから、(d)百姓に資金や原料を貸与し、間屋制家内工業を営む者も現われた。

村々では、豪農たちが余剰米を商品として販売し、一般の百姓たちも商品作物を生産して貨幣を得た。このなかで、出羽村山地方の **ア** や紀伊の蜜柑、駿河・山城・宇治の茶など、全国各地でそれぞれの風土に適した特産物がつくられた。また、地域の実情に応じて農書がつくられた。19世紀に刊行された『 **イ** 』は、その代表例である。農業技術においては、農書のほか、(e)肥料の発達が商品作物の生産に大きく貢献した。

(f)18世紀後半になると、田畑の荒廃や年貢収入の減少による財政難が、幕府だけでなく諸藩でもみられるようになった。このため、藩主みずから指揮して綱紀を引き締め、領内での儉約や統制を強めて財政難を克服し、藩権力の復興をめざす藩政改革が広く行われた。その際、農村の復興をはかり、(g)特産物の生産の奨励とともに専売制がとられた。こうして生産力の高まった藩のなかには、人口が増加する地域もあった。しかし(h)村々では、特産物である商品作物の生産・加工・運輸と幅広い生業が定着しており、農村の復興は農業の復興策だけでは解決しえないような状況であった。こうした社会の変化への対応に成功した藩は、幕末の政局に強い発言力をもつようになっていった。

問1 空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 **19**

- | | | | |
|---------------|----------------|---------------|---------------|
| ① ア 藍玉 | イ 広益国産考 | ② ア 藍玉 | イ 大和本草 |
| ③ ア 紅花 | イ 広益国産考 | ④ ア 紅花 | イ 大和本草 |

問2 下線部(a)に関連して、次の史料は太宰春台の『経済録拾遺』の一部である。この史料について述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、あとの①～④の中から一つ選びなさい。 20

今若し領主^(注1)より金を出して、国内の物産を買ひ取り、民の従来^{たみ}私^{わたくし}に売る^(注2)よりも利多きやうにせば、民必ず^{これ}之を便利と思ひて喜ぶべし。貨物を悉^{ことごと}く買取りて^(注3)、近傍の国と交易すべき物をば、交易もすべし。大方は江戸、大坂の両所に送りて、……他の商賈^{しょうこ}^(注4)より丟標^{いれふだ}^(注5)を取りて貴き価に売るべし。

(注1) 領主：大名。

(注2) 私に売る：個人的な取引。

(注3) 貨物を悉く買取りて：領内の物産を藩がすべて買い取って。

(注4) 商賈：商人。

(注5) 丟標：入札。

X 太宰春台は、幕府が全国の特産物を一元的に取引する利点について説いている。

Y 太宰春台は、地方では交易せず、江戸・大坂で商取引すべきと考えていた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問3 下線部(b)に関連して、西廻り海運で大坂に運ばれた商品として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 21

① 九十九里浜の鰯

② 野田の醤油

③ 別子の銅

④ 桐生の絹織物

問4 下線部(c)に関連して、江戸城下町について述べた文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 22

① 江戸城下は、身分ごとに居住する地域が明確に区分されていた。

② 戊辰戦争の際の江戸城明け渡しに際し、江戸城下は戦火にさらされた。

③ 明暦の大火に際し、江戸城下の町火消が消火にあたった。

④ 江戸城内につながる桜田門外で、老中安藤信正が暗殺された。

問5 下線部(d)に関連して、農村部での家内工業など手工業生産に関して述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④の中から一つ選びなさい。 23

- ① 地機(いざり機)を用いて、織物を生産した。
- ② 流漉の技術を用いて、桑から和紙を生産した。
- ③ 農村での手工業は、百姓が農業の合間に行った。
- ④ 19世紀には、一部の地域では織物業の一部で分業と協業による生産体制もみられた。

問6 下線部(e)に関連して、江戸時代の肥料に関して述べた文 a～d の組合せについて正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 24

- a 江戸時代以前から使われていた刈敷は、江戸時代には使われなくなった。
- b 江戸時代以前から使われていた下肥は、江戸時代には都市で購入された。
- c 商品作物生産に使われた油粕は、鰯からできた肥料である。
- d 商品作物生産に使われたゞ粕は、鯀や鰯などからできた肥料である。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問7 下線部(f)に関連して、18世紀後半に田畑の荒廃や年貢収入の減少を顕著にした要因に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 25

- X 浅間山の大噴火などによって、長期間におよぶ飢饉が起こった。
- Y 生田万の乱など、各地で大塩平八郎に共鳴する百姓一揆が起こった。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問8 下線部(g)に関連して、専売制をとった藩と、その藩で専売された特産物との組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 26

- ① 米沢藩－陶磁器 ② 長州藩－麻織物
- ③ 肥前藩－紙・蠟 ④ 薩摩藩－黒砂糖

問9 下線部(h)に関連して、江戸時代の農村の動向に関して述べた文 a～d の組合せについて正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。 27

- a 大坂の株仲間の流通独占に反対し、広域の村々による合法的訴訟がなされた。
- b 村役人の不正に対し、村の運営を指揮する水呑らが村方騒動を起こした。
- c 質流し(れ)禁令にともない、質地の無償取戻しをめざした農民が質地騒動を起こした。
- d 飢饉にともなう米価の急騰に反対し、米問屋を襲撃する惣百姓一揆が起こった。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

4 近現代の美術史に関する次の文章を読み、空欄 28 ～ 36 に入る語句として最も適当なものを、それぞれの①～④の中から一つ選びなさい。

近代の美術の発展は、政府によるところが大きい。1876年、28〔①工部省 ②文部省 ③教部省 ④内務省〕によって日本最初の美術教育機関が設置され、政府は外国人教師をまねいて西洋美術を教授させた。このときにまねかれた29〔①フェノロサ ②コンドル ③ジェーンズ ④フォンタネージ〕は西洋画を指導した。

1880年代になると、政府は伝統美術育成の態度に転じ、西洋美術を除外した東京美術学校を設立した。当初の教授には、30〔①浅井忠 ②荻原守衛 ③橋本雅邦 ④高橋由一〕が就任して日本の伝統美術の振興がはかられた。その後、時代の変化とともに伝統美術に限定されない教育が求められ、東京美術学校に西洋画科が新設された。

西洋画科の教授には黒田清輝が就いた。黒田はその一方で31〔①春陽会 ②白馬会 ③日本美術院 ④明治美術会〕という西洋画の団体を創設した。1907年に開かれた「文部省美術展覧会（文展）」では、伝統美術と西洋美術の共栄がはかれ、両者は共通の発表の場をもつに至った。第一回文展は、第1次西園寺公望内閣の文相32〔①尾崎行雄 ②鳩山一郎 ③牧野伸顕 ④森有礼〕を中心に、文部省や東京美術学校などの関係者の意見を取り入れて開催された。

大正時代になると、文展は「帝国美術院美術展覧会（帝展）」に改組されたが、1914年に設立された二科会など、反文展・反帝展を掲げる在野の諸美術団体も登場した。二科会に所属した有名な画家には、33〔①狩野芳崖 ②岸田劉生 ③辰野金吾 ④安井曾太郎〕がいた。

日中戦争が勃発した翌年、「支那事変海軍従軍画家スケッチ展」が開催された。また、陸軍省は大日本陸軍従軍画家協会を結成し、戦地へ従軍画家を派遣した。そのなかの一人がイギリス領の34〔①シンガポール ②バタヴィア ③サイゴン ④マニラ〕からインドシナへの移動中に描いた絵が、代表的な「戦争記録画」として残っている。

第二次世界大戦後、GHQは35〔①軍国主義 ②民主主義 ③共産主義 ④無政府主義〕を象徴するものとして、153点の「戦争記録画」を接収してアメリカに移送した。それらは1970年に日本に無期限貸与という形で返還された。それらの画は現在、東京国立近代美術館に保管されている。また、同年に36〔①東京 ②大阪 ③名古屋 ④横浜〕で開催された日本万国博覧会では、岡本太郎によって「人類の進歩と調和」というテーマを象徴する「太陽の塔」が制作された。

(このページは, 空白である。)